

TCAの合言葉 ①自転車で風を追いかけよう ②健康と友情の輪をひろげよう ③道と自然と文化に親しもう

## T C A ニ ュ ー ス No. 74

東京サイクリング協会 〒110 東京都台東区上野3-8-8 ☎03-3833-3969

サイクリストの五楽 ①輪楽・自転車を楽しみ ②行楽・旅を楽しみ ③道楽・道を楽しみ ④友楽・友を楽しみ ⑤遊楽・遊びを楽しむ

1993年4月発行

### クラブ紹介 【第2回】

— まつかさクラブ —

～のんびり、ゆっくり、おいしく、楽しく～

入会資格は男45歳以上

\*

昭和51年10月24日、折からのオイルショックで不況の嵐が吹き荒れているとき、通産省から馬越善通さんが日本サイクリング協会副会長に着任。理事の寺見さんとお二人でわれわれもサイクリングをして自転車のムードを高めようと相談され、さっそく自転車関係業界に呼びかけて、第一回の会合を日比谷公園内松本楼に関係者50～60名を集めて開催。寺見・馬越さんの話に皆さんが賛同し、全員一致でサイクリングクラブを作ることになり、初代会長に当時の丸石自転車社長の山口澄三郎さん、副会長二人、吉川清太郎さん（現会長）と丸山愛吉さんを選んで発足したのです。その際、会の名前についてはいろいろ意見があったそうで、当日は決まらず散会。会場の松本楼を出たところで、公園内に多数落ちていたまつかさを山口さんが拾い上げ、「まつかさ」にしようということになり、第二回の会合のとき、出席者27名の皆様にはかり「まつかさクラブ」がここに誕生したのです。

会のモットーは「のんびり、ゆっくり、おいしく、楽しく」で、入会資格の唯一の条件は男性45才以上だけです。発足当初からのクラブ員は現在一桁ですが、その後、各方面の方々が漸次入会され、現在約50名の会員を誇っております。

北はいわき市の萱場さん。西の大阪の丸岡さん。南は鹿児島に住まいを移された三浦さん。アメリカ国籍のジョン・パーソンさん。パーソンさんと良いコンビで、何を云っても、何をやっても、ゆるされてしまう特技の持ち主の桜井先生。傘寿を目前にして尚天氣の良い日には50～60kmを走られる黒川さん。まつかさクラブの特徴の一つにご夫妻で参加している会員が多いことです。吉川会長夫妻、吉川隆二夫妻、有我夫妻、菊池夫妻、それにかくいうわたくしもおしどり参加です。又、ご主人の絶大なるご理解のもとに快走する田中さん、片倉さん。ただ無為無策に走り回るだけではなく、ご自分で目的を作って例えば秩父・武蔵の札所めぐりで朱印の掛け軸を完成させる為に数種類の自転車を使い分けて激走する加藤先生。先生は又、自転車と云うネーミングが何となく荷物運びの作業用実用車と云う、ダサイ、イメージが強く感じられるので何とか若い人たちにアピールする遊びごころがあり、スマートでちょっと乗ってみたい、走ってみたいと云う粋なネーミングを懸命に考えて、「Zero Emission Intelligent Vehicle」

「Z E I V」を提唱し、「私財を投げ打って」でなく、小遣いをちょいとさいて普及に努めている粹人です。T C Aの会長であり「まつかさクラブ」の世話役さんの佐近さんは、「まつかさ」T C Aの合同ミーティングや合同サイクリングの際の司会・進行役では抜群の記憶力とユーモア溢れる話術で100名以上の参加者全員をもこの見事に紹介すると云う離れ技を披露して下さいます。

発足以来17年、本年10月2日～3日に榊葉サイクリングターミナルを利用して行う行事が100回目の記念行事になります。17年で100回は年平均6回、その間の記録は先年亡くなられた馬越さんが完全に残して下さい、現在はそれを矢崎さん、高林さんが引き受けて下さり、100回を迎えられたことは幸せなことです。サイクリングの場所の設定・計画を立案し、資料を収集し、事前に試走するなどしてかくれた甘味を紹介して完璧なサイクリングを供して下さいる小笠原さんの実力。各地の歴史・文化・史跡・神社・仏閣・仏縁等に殊に造詣が深く、面白く判り易く説明して下さい、サイクリングが一層充実したものに感じられる鈴木さんの博識ぶりに舌をまきながら時々、ちょろりと見せるご愛敬がまた楽しみの一つでもあります。

この様に会員お一人一人を取り上げていると限りがありません。幅広い年齢層の多士済々の我がクラブは、スピードを競い、ただ早く走るのは他のクラブにおまかせして、T C A傘下の各地の皆々様、各メーカーのクラブの方々のご協力とご援助を感謝しつつ、今後又一層のお力添えをいただいてクラブ・ライフを楽しみたいと思ひ、虫の好いお願いをして「まつかさクラブ」の紹介を終わります。

(まつかさクラブ：永井英次)

## 『東京いいところ自転車散歩』

### コース募集のお願い

昨年9月より始まったこのランも、関東甲信越サイクリングラリー東京大会まで一年余となり、そのモデルコース作りの段階は一応終え、秋からは、都内全域でポタリングコースをまとめながら、気楽に走って東京再発見を楽しみたいものです。会員の皆さんの参加で新しいコースを作して下さい。住まいの附近を走らせるとか、自分の好みに仲間を誘いこむなど、個性的なの歓迎です。但し、お礼も景品もないのですが…。

コース設定には、

☆主な見所、コースの簡単な紹介

☆集合地、解散地がわかり易く、鉄道駅、主要道路に近い事。

☆走行距離は35km位まで、走行時間帯は、10時頃から3時頃までを設定。

☆途中で昼食、休憩の配慮ができる事。

などを考慮下さい。勿論、他コースと重複しても結構です。助言、手伝いが必要でしたら50名程いるT C Aリーダーが協力する筈です。

尚、コース設定上必要な経費は、協会より補助します。

[担当] 北川常夫・中村洋一郎

## 私の観るTCAベストドレッサー達

前回投稿を呼びかけ「私の観るベストドレッサー」を、予告してからもはや1年。予告すれば、投稿呼びかけに応じてくださるだろうと期待していた。考えて見るまでもなく、手前勝手な思い込みによる記事と、情報の発信量が少ない単なる独り相撲だったから無理もないわけである。以下は、TCAの皆さんを狭い限られた中でしか観ていない私の独断と偏見での感想である。私の感想に対してだけでなく、自薦他薦のベストドレッサーをTCAニュースへ投稿してサイクルファッション談義をしたいものである。

ベストドレッサーのトップに挙げたいのは、まつかさクラブの人達だろう。さすがに、自転車に関連した業種のメンバーがクラブを作っただけに、歴史や文化を理解されて自分の自転車とファッションが完璧にコーディネートされている人が多い。特に名前を挙げるなら、永井理事ご夫妻と有我ご夫妻である。ハンチングとニッカボッカーのフレンチスタイルを踏襲し、さっそうと自転車を操っている。自転車とファッションが心地よくコーディネートされており素晴らしい。自転車があるからこそこのスタイルである。TPOをわきまえておられさりげなく装っている所がオシャレである。

サイクリングもスポーツとしてとらえると、道路を走るときに他の車から目立ち、安全で、動きやすく機能的なファッションの追及がなされていていいはずと私は考える。自転車をもたずに銀ブラをするときのファッションとはおのずと違って来るであろう。

このまつかさクラブも時代と共に、一部に様式的コーディネートから観て、ファッションが乱れて来ているように思われる。初期のまつかさクラブにはアイデンティティが感じられ、私にはあこがれのクラブであった。クラブ員の多くは最近、輪行する手間がめんどろになり、走る距離もだんだん短くなって来ている。本格的なランドナーから軽快車や、スポルティーフ、軽合フレームのチューブラー、はたまたMTBなどと多彩になってきている。自転車の種類や形、色とファッションとのコーディネート、今の時代に合わせたスタイルは今一つといった感がある。このクラブの構成メンバーの世代からTCAの長老的・ステイタス的存在であるが故に、中途半端な街着からの延長ではなくスポーツ

としてのサイクルファッションを生み出してもらいたいものである。それも今の時代にあったトラディショナルなスタイルがクラブから生まれて来そうである。そうあってほしい。団塊の世代や中年の他のクラブ員からあこがれの目で見られているクラブだけに希望を込めた感想を書かせてもらった。

次のベストドレッサー達はロードレーサーにジャージ・レーサーパンツの組み合わせ。

(TCA会員・理事：近藤 隼人)

## 謹賀新年

### Ein gutes Neues Jahr !

ドイツ到着後、早くも約3ヶ月が経ち、自然に恵まれた素晴らしい環境と親切な人々に囲まれて、元気に93年を迎えることができました。スーパーで特価の700C(199DM=約1万6千円)を買い、当初近隣の森の中を走っていましたが、現在は、日中でも-5℃前後というあまりの寒さで乗れません。暖かくなったらレースも見に行きたいと思っております。

皆様にとりまして、今年も素晴らしい一年でありますようお祈り申し上げます。

1993年1月1日

池田 宰  
美河

ドイツに留学している

池田 宰氏から新年の挨拶と近況を知らせてきました。

(詳細は、紙面の都合で、今回は載せられませんが、機会があったらドイツのサイクリング事情等載せたいと思います。)

## 「リーダー研修会報告」

\*

2月20日(土)日比谷線八丁堀駅に程近い東京都勤労福祉会館で午後6時より9時まで実施され、26名(当日申込み参加者6名)が参加されました。

「鈴木茂雄の自転車旅行術」ビデオ全2巻を鑑賞検討すると共に実際ビデオに出演した時の話しを交え活発に質問意見等が出されました。又参加者の希望で全員の自己紹介をする事となり、そのまま雑談討議(意見交換)となってしまう予定していたTCA規約改正問題、最近の自転車用工具の動向等を考えていましたが出来なくなりましたのでパンフレットの配布だけとなりました。今回は特に会場が狭く皆さんに御迷惑をかけました。予定どうりには行きませんでした。皆さんからの御意見、提案事項を整理し、今後に生かして行きたいと思っております。研修会に際して協力いただいた木村喜久男さん、野沢撰夫さん、他皆さんありがとうございました。

(指導部：渡辺康雄)